

「がん」について勉強しました

11月18日（火）、2年生対象に「がん」という病気について勉強しました。

事前学習として、「明日もまた生きていこう」という横山友美佳さんの手記を資料に、道德の授業を行いました。病気と闘う友美佳さんの想いから、健康のすばらしさや、目標をもって生きることの大切さを感じ、命の尊さについて考えを深めました。

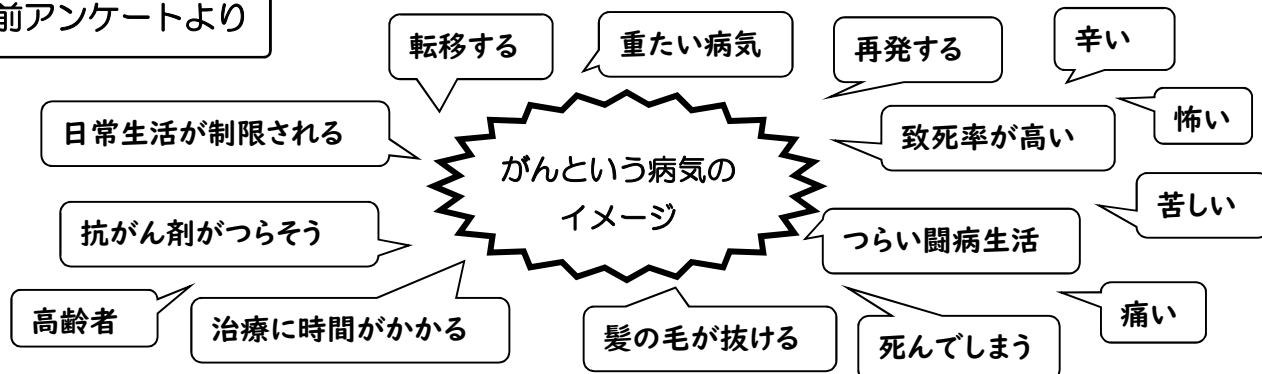


当日は、星薬科大学教授・東京大学医学部附属病院で診療をしている野村幸世先生をお迎えして、「がんを知り、よりよく生きていくために」というお話をさせていただきました。講師の先生のわかりやすいスライドと説明で、みんな真剣に取り組んでいました。正しい知識を得ることで、不安が解消されたり、気を付けたい事や検診の大切さを家族に訴えたいなどの気持ちがでてきたりしたようです。

講演会の直前と直後に、アンケートや感想で、振り返りを行いました。また、大切な人のがん検診を受けてもらうよう、メッセージカードを書きました。それぞれ一生懸命に考え、これからの生活を考える良いきっかけになったようです。みんな素晴らしい意見を書きましたので、以下に紹介します。

「がん」という重いテーマでしたが、講師の先生をお迎えしての講演は大変勉強になり、これからの人生に深くかかわっていくものと思います。

事前アンケートより



講演会でのお話

<がんという病気について>

健康な体がどうなることをがんというのだろう。
がんの原因は何だろう。
がんになる危険性を減らすことはできるのだろうか。

<日本のがんの状況>

日本人はどれくらいの人のがんになっているのだろう。

<がんの発生と進行>

がんは体のどこにできるのだろう。
がんはどのように進行するのだろう。

<がんの予防>

がんにならないためにできることは何だろう。
子宮頸がんワクチンって何だろう。
あなたの大切な人が、がんにならないためのメッセージを考えよう。

<検診の意味>

なぜ検診を受けなければならないのだろう。
あなたの大切な人にごがん検診をすすめるキーワードを考えよう。

<がんの治療で大切なこと>

がんはどのように治すのだろう。
治療法を決めるとき大切なことは何だろう。

<がん治療の支援>

がん治療にはどのような支援が必要なのだろう。
なぜ緩和ケアが必要なのだろう。

<がん患者の想い>

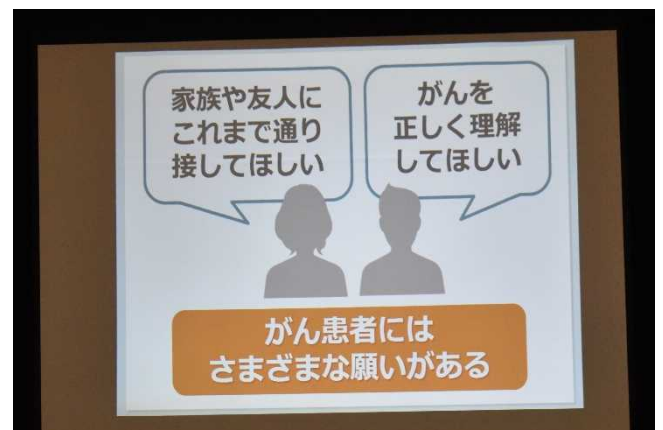
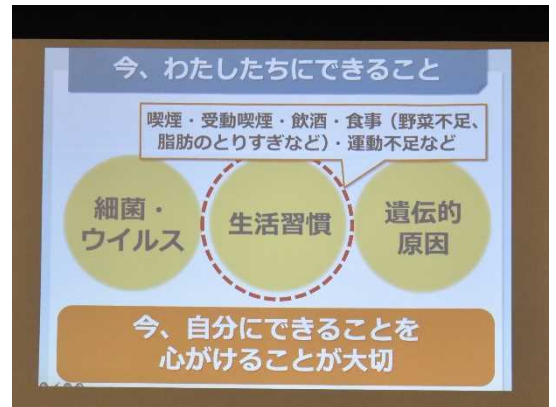
がん患者は何を望み、何を求めているのだろう。

<がん患者とともに生きる社会>

がん患者とどのように接すればよいのだろう。
がん患者が暮らしやすい社会とはどのような社会だろう。

<生物はみな死ぬ話>

ホスピス、緩和ケア病院。
どうしたらみんなが幸せになれるだろう。



事後アンケートより

1 あなたの大切な人が、「がん検診に行きたい」と思えるような言葉を考えてください。

- ・がんは二人に一人がかかるよ。早期発見で今後が変わる。
- ・行っというて損はない。
- ・早期発見は生きる道。行けば生、行かぬは死。
- ・あとでだと遅いから今行って。
- ・これからの幸せのためにがん検診に行こう
- ・あなたが元気でいてくれることが、私にとって一番の幸せ。これからも一緒にたくさん笑いたいから、検診に行ってほしいな。



2 あなたの大切な人が「がん」の患者になった時、どのように接していきますか。

- ・できることはできる範囲で支えたい
- ・普通にいつも通り変わらずに接したり、困っていることがあれば助ける。
- ・その人の心に寄り添って、治療などについて話していきたい。
- ・しっかりと近くで支えてあげる。
- ・相手のがんになったとしても、今までと同じように接するようにしていきたい。そうすることによって、相手の心配や不安が少しでも減らすことができると思った。
- ・無理に励ましたり、慰めたりするのではなく、そのがんについての知識を知り、いつもどおり接すること。



3 がんの患者が暮らしやすい社会とは、どのような社会だと思いますか。

- ・がんに対する知識がみんなにあって協力してくれる社会。
- ・がんについて理解していて、その後の生活に支障が出てもカバーしてもらえる社会。
- ・患者の状況を理解し、尊重してくれる周囲の理解と協力。最新の治療法や、緩和ケアに関する情報を得やすい環境。
- ・気持ちが下がりすぎないスクールカウンセラー的なやつがあったほうがいいと思った。またがんが治ったときとかに働きやすい環境を整えることも暮らしやすい社会の一つかなと思った。
- ・がんになってしまったときの支援やがんになってしまって不安なことがたくさんあるときに家族や友達がその人のことを支える環境（社会）だと思います。
- ・相談できる場所がもっと増えたらいいなと思った。
- ・がんになったあと復帰しやすいような社会。

